

Ⅲ 結果の概要

【学校調査】

1 総括

(1) 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

- ① 学校(園)数は、幼稚園が1,042園、小学校が1,363校、中学校が819校、高等学校が432校、高等学校通信制が13校、中等教育学校が8校、特別支援学校が68校、専修学校が419校、各種学校が163校となった。前年度と比較すると、中学校、高等学校通信制、中等教育学校では増減がなく、他の学校種は減少した。
- ② 在学者数は、幼稚園が173,642人、小学校が586,412人、中学校が311,758人、高等学校が315,262人、高等学校通信制が14,045人、中等教育学校が5,940人、特別支援学校が12,025人、専修学校が141,989人、各種学校が22,563人となった。平成18年度から平成22年度まで5年連続で減少していた幼稚園園児数が前年度に引き続き増加し、平成13年度から平成22年度まで10年連続で増加していた小学校児童数が前年度に引き続き減少した。
- ③ 教員数(本務者)は、幼稚園が10,708人、小学校が32,246人、中学校が19,209人、高等学校が18,951人、高等学校通信制が302人、中等教育学校が453人、特別支援学校が5,804人、専修学校が7,455人、各種学校が1,608人となった。前年度と比較すると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校では増加し、高等学校通信制、専修学校、各種学校では減少した。(表1、統計表1-1)

表1 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

(単位:校、園、人、%)

区分	学 校 (園) 数				在 学 者 数				教 員 数 (本 務 者)			
	平成 24年度	平成 23年度	対前年度 増減数	対前年度 増減率	平成 24年度	平成 23年度	対前年度 増減数	対前年度 増減率	平成 24年度	平成 23年度	対前年度 増減数	対前年度 増減率
幼 稚 園	1,042	1,051	△9	△0.9	173,642	171,769	1,873	1.1	10,708	10,695	13	0.1
小 学 校	1,363	1,367	△4	△0.3	586,412	592,192	△5,780	△1.0	32,246	31,877	369	1.2
中 学 校	819	819	0	0.0	311,758	311,982	△224	△0.1	19,209	19,055	154	0.8
高 等 学 校	432	434	△2	△0.5	315,262	313,779	1,483	0.5	18,951	18,750	201	1.1
高等学校通信制	13	13	0	0.0	14,045	14,255	△210	△1.5	302	306	△4	△1.3
中等教育学校	8	8	0	0.0	5,940	5,319	621	11.7	453	444	9	2.0
特別支援学校	68	69	△1	△1.4	12,025	11,592	433	3.7	5,804	5,723	81	1.4
専 修 学 校	419	431	△12	△2.8	141,989	142,547	△558	△0.4	7,455	7,733	△278	△3.6
各 種 学 校	163	168	△5	△3.0	22,563	23,029	△466	△2.0	1,608	1,662	△54	△3.2

注1) 高等学校で全日制又は定時制と通信制課程を併置している9校は、「高等学校」と「高等学校通信制」の両方に計上している。

2) 高等学校及び中等教育学校の在学者数は、本科の人数で専攻科及び別科は含まない。

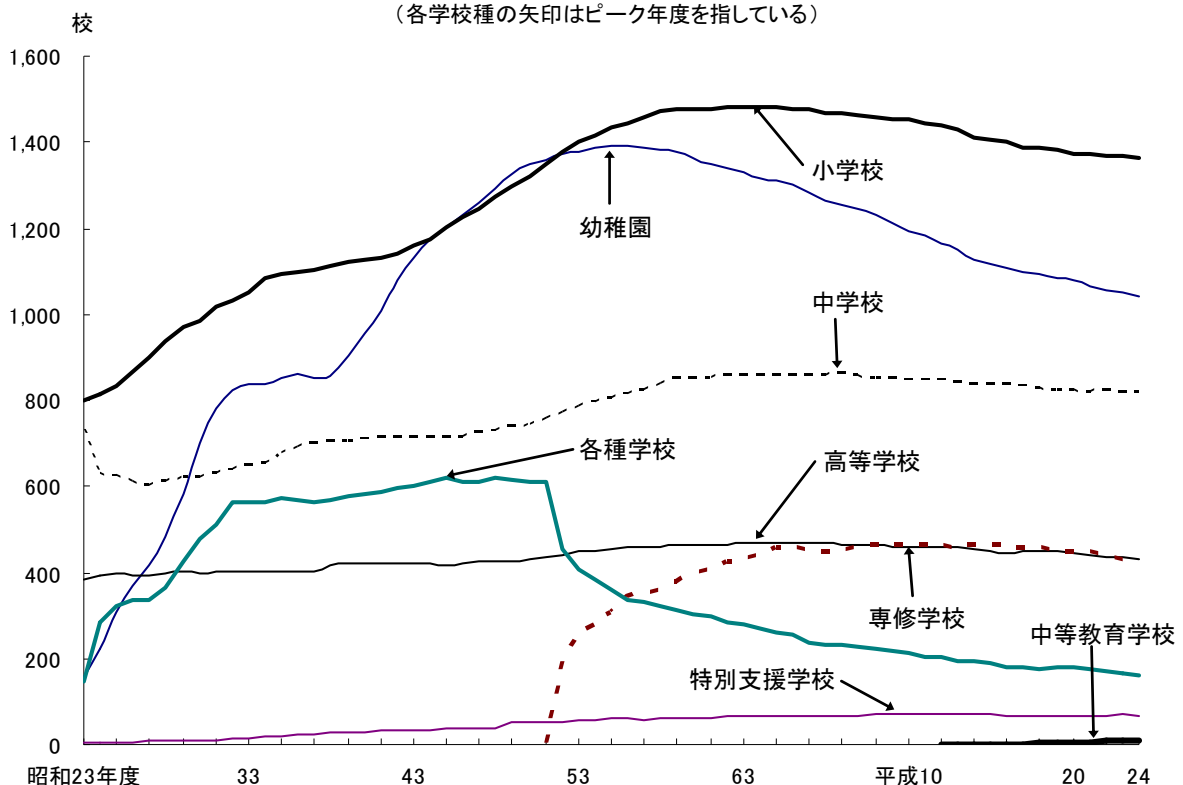
(2) 学校(園)数の推移

- ① 昭和23年度からの学校(園)数の推移をみると、幼稚園は昭和23年度に157園であったが昭和55年度に1,390園となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は31年連続して減少した。
- ② 小学校は、昭和23年度に798校であったが平成元年度に1,482校となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は20年連続して減少した。
- ③ 中学校は、昭和23年度に732校であったが平成6年度に861校となりピークを迎えた。その翌年度からは減少傾向になり、今年度は前年度から増減はなくピーク時より42校の減少となった。
- ④ 高等学校は、昭和23年度に382校であったが平成元年度に468校となりピークを迎えた。今年度はピーク時より36校減少した。
- ⑤ 中等教育学校は平成12年度に1校が発足し、平成22年度に8校となった。
- ⑥ 特別支援学校は、昭和23年度に6校であったが平成9年度に70校となった。今年度は前年度より1校減少して68校となった。
- ⑦ 専修学校は、昭和51年度に制度が発足し当初は5校であった。平成10年度に466校となりピークを迎えたが、その後は増減を繰り返し、今年度はピーク時より47校減少した。
- ⑧ 各種学校は、昭和23年度に149校であったが昭和45年度に622校となりピークを迎えた。昭和49年度からは平成19年度を除き減少しており163校となった。

(図1、付表I)

図1 学校(園)数の推移(昭和23年度～平成24年度)

(各学校種の矢印はピーク年度を指している)



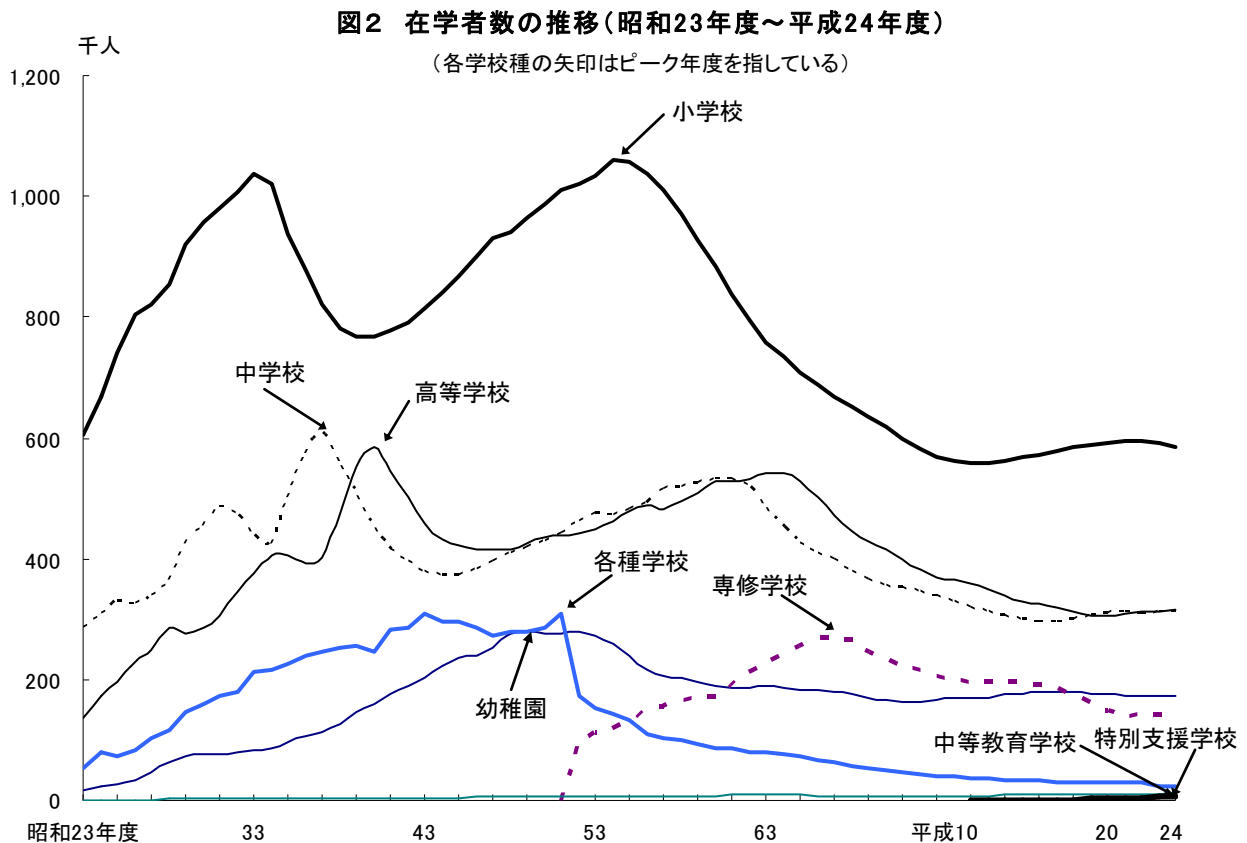
注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。

2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(3) 在学者数の推移

- ① 昭和23年度からの在学者数の推移をみると、幼稚園園児数は昭和49年度の279,741人をピークにその後は増減を繰り返し、平成18年度から平成22年度までは5年連続で減少した。今年度はピーク時より106,099人減少した。
- ② 小学校児童数は、昭和54年度に1,060,176人のピークとなった。その後、平成12年度まで21年連続して減少が続いたが、平成13年度から平成22年度まで10年連続で増加した。昨年度からは減少に転じ、今年度はピーク時より473,764人減少した。
- ③ 中学校生徒数は、昭和37年度にピークを迎え607,891人になった。その後、減少と増加を繰り返し、今年度はピーク時より296,133人減少した。
- ④ 高等学校生徒数は、昭和40年度に584,103人のピークとなったが、昭和47年度まで減少が続いた。その後は増減を繰り返し、今年度は4年連続の増加となった。
- ⑤ 中等教育学校生徒数は、平成12年度は708人であったが、平成16年度以降は増加が続いており今年度は5,940人となった。
- ⑥ 特別支援学校在学者数は、昭和23年度は949人であったが、昭和63年度まで増加した。翌年からは8年間減少し、平成9年度からは増加が続いており今年度は12,025人となった。
- ⑦ 専修学校生徒数は、制度が発足した昭和51年度には383人であったが、平成4年度に270,045人となりピークを迎えた。その後は平成14年度を除き平成21年度まで減少し、平成22、23年度は増加したが、今年度は減少した。
- ⑧ 各種学校生徒数は、昭和23年度に54,068人であったが、昭和51年度には310,131人のピークとなった。その後は昭和61年度と平成19年度を除き減少が続いている。

(図2、付表I)



注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。
 2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

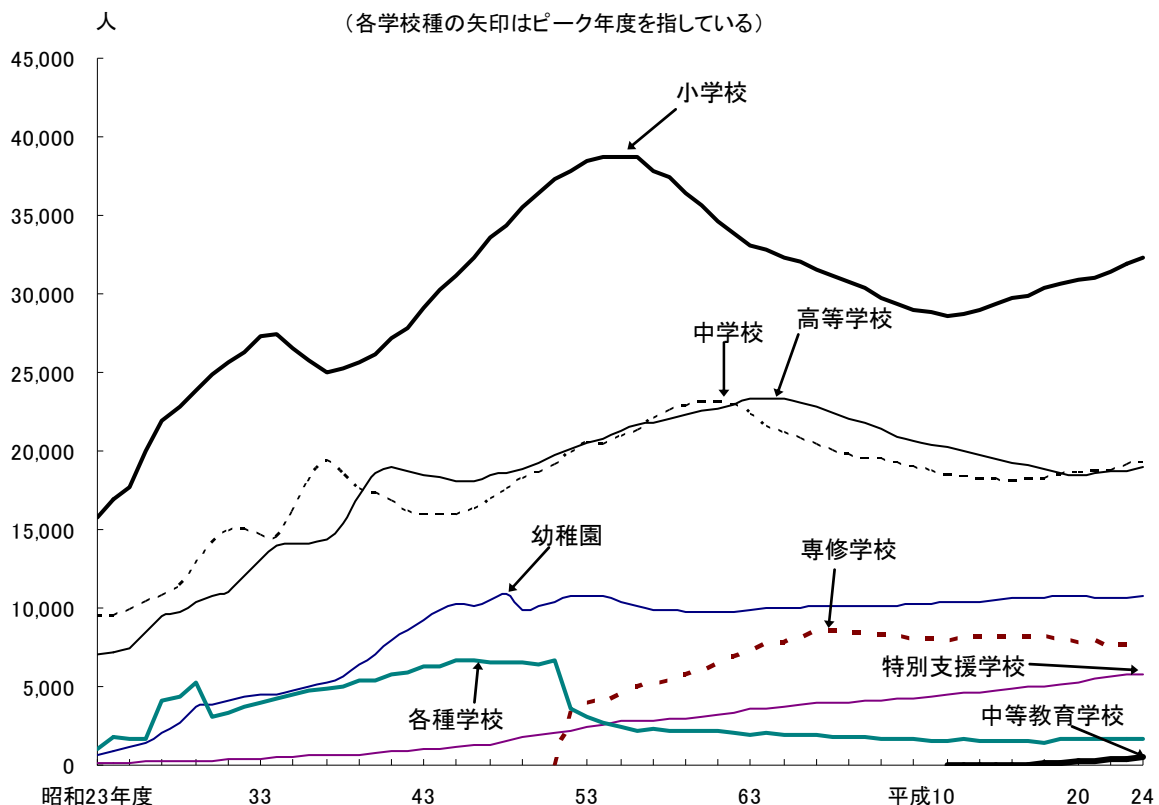
(4) 教員数(本務者)の推移

- ① 昭和 23 年度からの教員数の推移をみると、幼稚園は昭和 48 年度の 10,886 人が最多であったが、今年度は 10,708 人となった。
- ② 小学校教員数は、昭和 55 年度に 38,676 人となり最多であったが、翌年度から減少が続いた。平成 13 年度からは増加に転じ今年度は 32,246 人となった。
- ③ 中学校教員数は、昭和 61 年度に 23,111 人となり最多であったが、翌年度から平成 16 年度まで減少が続いた。その後、平成 17 年度からは増加し今年度は 19,209 人となった。
- ④ 高等学校教員数は、平成元年度に 23,346 人となり最多となった。その後、平成 20 年度まで減少が続いていたが、平成 21 年度以降は増加に転じて、今年度は 18,951 人となった。
- ⑤ 中等教育学校教員数は、平成 12 年度は 40 人であったが、平成 18 年度以降増加が続き、今年度は 453 人となった。
- ⑥ 特別支援学校教員数は、昭和 23 年度は 120 人であったが、増加を続け今年度は 5,804 人となった。
- ⑦ 専修学校教員数は、昭和 51 年度の制度発足時には 18 人であったが、平成 4 年度に 8,589 人で最多となり、その後増減を繰り返し、今年度は 7,455 人となった。
- ⑧ 各種学校教員数は、昭和 23 年度に 1,006 人であったが、昭和 46 年度に 6,646 人で最多となり、その後、増減を繰り返し今年度は 1,608 人となった。

(図 3、付表 I)

図 3 教員数(本務者)の推移(昭和23年度～平成24年度)

(各学校種の矢印はピーク年度を指している)



注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。

2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(5) 長期欠席者数

【小学校】

- ① 長期欠席者数（前年度間に30日以上欠席した人数）は4,197人で、平成19年度間から4年連続して減少したが、平成23年度間は増加した。
- ② 平成23年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が49.0%、病気が23.4%を占めている。

【中学校】

- ① 長期欠席者数は8,905人で、平成21年度間から引続き減少した。
- ② 平成23年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が85.2%、病気が8.8%を占めている。

(表2、図4、統計表3-5、4-6)

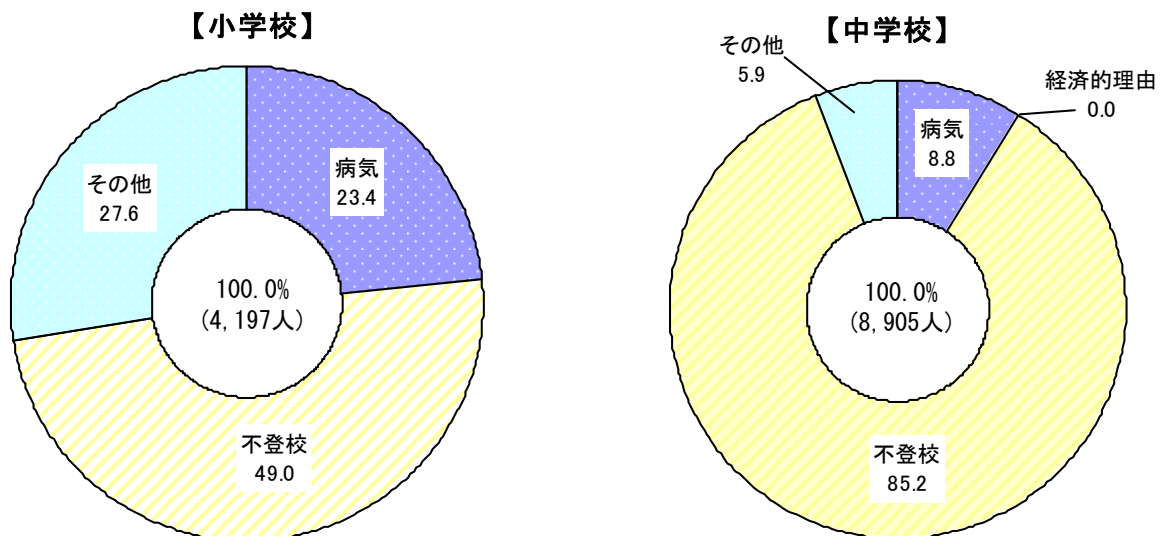
表2 長期欠席者数（小学校、中学校）

(単位：人、%)

区 分	平成13年度間	18	19	20	21	22	23	増 減 (対前年度間)	構 成 比
小 学 校	5,456	4,383	4,329	4,227	4,107	3,965	4,197	232	100.0
病 気	2,257	1,360	1,264	1,134	1,078	1,021	983	△ 38	23.4
経済的理由	7	13	1	5	4	1	—	△ 1	—
不 登 校	2,236	1,907	1,914	1,862	1,907	1,969	2,056	87	49.0
そ の 他	956	1,103	1,150	1,226	1,118	974	1,158	184	27.6
中 学 校	9,725	9,738	9,789	9,882	9,391	9,126	8,905	△ 221	100.0
病 気	948	1,108	1,055	1,070	902	922	787	△ 135	8.8
経済的理由	41	14	11	9	12	6	3	△ 3	0.0
不 登 校	8,302	7,869	8,009	7,899	7,747	7,720	7,590	△ 130	85.2
そ の 他	434	747	714	904	730	478	525	47	5.9

注) 長期欠席者数内訳の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由で長期欠席した者及び欠席理由が2つ以上あり（例えば「病気」、「不登校」など）主たる理由を特定できない者の人数である。

図4 長期欠席者数の理由別内訳（平成23年度間）



2 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ① 幼稚園数は1,042園で、前年度より9園減少した。
- ② 地域別に前年度増減をみると、区部が746園で7園、市部が292園で2園それぞれ減少し、郡部は4園で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が190園で前年度より5園減少し、私立が850園で4園減少した。構成比では私立が全体の81.6%を占めている。(表3、統計表2-1)

表3 地域、設置者別幼稚園数

(単位：園、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	1,128	1,084	1,080	1,064	1,057	1,051	1,042	△ 9	100.0
(地 域 別)									
区 部	806	778	775	763	757	753	746	△ 7	71.6
市 部	318	302	301	297	296	294	292	△ 2	28.0
郡 部	4	4	4	4	4	4	4	0	0.4
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	2	2	2	2	2	2	2	0	0.2
公 立	234 (11)	214 (8)	213 (10)	201 (10)	197 (10)	195 (9)	190 (9)	△ 5	18.2
私 立	892 (30)	868 (30)	865 (28)	861 (29)	858 (30)	854 (28)	850 (26)	△ 4	81.6

注) () 内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は6,691学級で、前年度より12学級減少した。
- ② 設置者別にみると、国立が14学級、公立が588学級、私立が6,089学級となった。(表4、統計表2-1)

表4 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	6,879	6,896	6,849	6,773	6,722	6,703	6,691	△ 12	100.0
国 立	13	13	13	13	13	14	14	0	0.2
公 立	667	643	635	612	596	591	588	△ 3	8.8
私 立	6,199	6,240	6,201	6,148	6,113	6,098	6,089	△ 9	91.0

(3) 園児数

- ① 園児数は173,642人で、前年度より1,873人増加した。10年前の平成14年度と比較すると1,958人減少した。
- ② 地域別にみると、区部が111,820人で前年度より1,623人増加した。構成比では区部が64.4%を占めている。
- ③ 設置者別では、国立が379人で前年度より17人減少し、公立が13,884人で256人、私立が159,379人で1,634人それぞれ増加した。構成比では私立が全体の91.8%を占めている。(表5、統計表2-4)

表5 男女、地域、設置者別園児数

(単位：人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	175,600	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	1,873	100.0
(男 女 別)									
男	89,275	90,088	89,382	87,283	86,676	86,920	87,841	921	50.6
女	86,325	87,587	86,570	84,736	84,597	84,849	85,801	952	49.4
(地 域 別)									
区 部	111,459	112,529	111,738	109,699	109,707	110,197	111,820	1,623	64.4
市 部	63,588	64,567	63,676	61,817	61,119	61,138	61,387	249	35.4
郡 部	553	579	538	503	447	434	435	1	0.3
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	384	378	383	382	370	396	379	△ 17	0.2
公 立	15,374	14,773	14,362	13,705	13,489	13,628	13,884	256	8.0
私 立	159,842	162,524	161,207	157,932	157,414	157,745	159,379	1,634	91.8

(4) 年齢別園児数

年齢別では、3歳児が52,769人で前年度より774人、4歳児が60,367人で190人それぞれ減少し、5歳児は60,506人で2,837人増加した。(表6、統計表2-4)

表6 年齢別園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
(実 数)								
総 数	175,600	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	1,873
3 歳 児	48,960	51,975	51,622	50,126	53,285	53,543	52,769	△ 774
4 歳 児	63,093	62,317	61,786	59,886	57,851	60,557	60,367	△ 190
5 歳 児	63,547	63,383	62,544	62,007	60,137	57,669	60,506	2,837
(構 成 比)								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3 歳 児	27.9	29.3	29.3	29.1	31.1	31.2	30.4	△ 0.8
4 歳 児	35.9	35.1	35.1	34.8	33.8	35.3	34.8	△ 0.5
5 歳 児	36.2	35.7	35.5	36.0	35.1	33.6	34.8	1.2

(5) 1学級当たりの園児数及び教員(本務者)1人当たりの園児数

1学級当たりの園児数は26.0人で、前年度より0.4人増加した。教員(本務者)1人当たりの園児数は16.2人で0.1人増加した。(表7、統計表2-1、2-4、2-5)

表7 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの園児数

(単位：学級、人)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
学 級 数	6,879	6,896	6,849	6,773	6,722	6,703	6,691	△ 12
園 児 数	175,600	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	1,873
教員数(本務者)	10,430	10,738	10,738	10,702	10,705	10,695	10,708	13
1 学 級 当 たり 園 児 数	25.5	25.8	25.7	25.4	25.5	25.6	26.0	0.4
園 児 数 教員 1 人 当 たり 園 児 数	16.8	16.5	16.4	16.1	16.0	16.1	16.2	0.1

(6) 入園児数

新規入園児数は61,585人で前年度より1,122人減少した。構成比を10年前の平成14年度と比較すると、3歳からの入園児数が13.0ポイント上昇したが、4歳は12.3ポイント、5歳は0.6ポイントそれぞれ低下した。

(表8、統計表2-4)

表8 年齢別新規入園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)
(実数)								
新規入園児総数	68,342	65,799	63,759	60,612	62,938	62,707	61,585	△1,122
3歳から入園	48,208	51,089	50,670	49,078	52,004	52,213	51,397	△816
4歳から入園	18,263	13,007	11,587	10,181	9,604	9,292	8,896	△396
5歳から入園	1,871	1,703	1,502	1,353	1,330	1,202	1,292	90
(構成比)								
新規入園児総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3歳から入園	70.5	77.6	79.5	81.0	82.6	83.3	83.5	0.2
4歳から入園	26.7	19.8	18.2	16.8	15.3	14.8	14.4	△0.4
5歳から入園	2.7	2.6	2.4	2.2	2.1	1.9	2.1	0.2

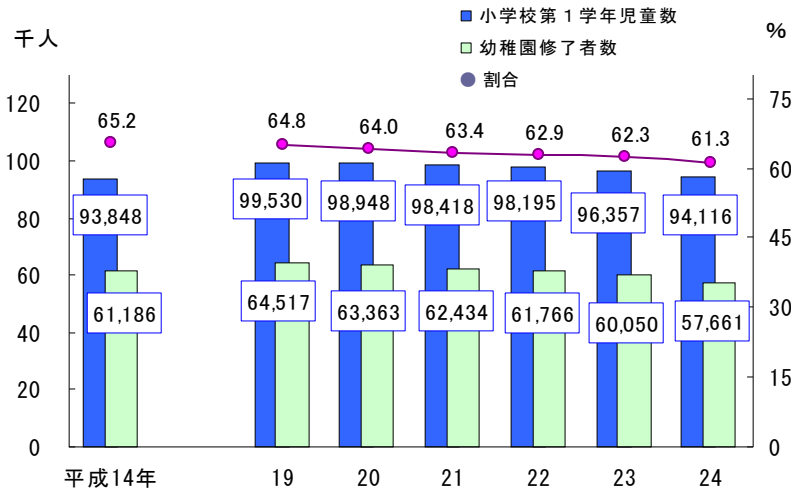
注) 新規入園児とは、当該年度4月1日から5月1日に入園した者である。

(7) 幼稚園修了者数と小学校第1学年児童数

幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合は61.3%で、前年度より1.0ポイント低下した。

(図6、統計表2-4、3-3)

図6 幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合の推移



注1) 比率 = $\frac{\text{幼稚園修了者数}}{\text{小学校第1学年児童数}} \times 100$

注2) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校第1学年児童数は各年5月1日在籍者

(参考)

小学校入学前の幼児人口

(単位：人)

区分	平成22年 1月1日	平成23年 1月1日	平成24年 1月1日
6歳	97,896	98,080	94,378
5歳	98,013	94,622	99,047
4歳	94,527	99,439	100,942
3歳	99,635	101,480	102,783
2歳	101,803	103,795	103,875
1歳	104,457	105,020	106,112
0歳	102,933	104,772	102,469

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(総務局統計部人口統計課)

(8) 教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

- ① 教員数は10,708人で、前年度より13人増加した。10年前の平成14年度と比較すると278人増加した。
- ② 男女別にみると、男が733人で前年度より9人、女は9,975人で4人それぞれ増加した。
- ③ 設置者別では、国立が24人で3人、私立が9,836人で27人それぞれ前年度より増加し、公立が848人で17人減少した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は93.2%で、前年度と同率となった。
- ⑤ 教育補助員(教育活動の補助にあたる者)は412人で前年度より15人減少した。

(表9、統計表2-5)

表9 男女、設置者別教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減	
								(対前年度)	構成比
総数	10,430	10,738	10,738	10,702	10,705	10,695	10,708	13	100.0
(男女別)									
男	633	678	713	707	703	724	733	9	6.8
女	9,797	10,060	10,025	9,995	10,002	9,971	9,975	4	93.2
(設置者別)									
国立	16	18	18	18	19	21	24	3	0.2
公立	980	894	898	883	878	865	848	△ 17	7.9
私立	9,434	9,826	9,822	9,801	9,808	9,809	9,836	27	91.9
女性教員の割合	93.9	93.7	93.4	93.4	93.4	93.2	93.2	0.0	—
教育補助員	462	435	452	404	418	427	412	△ 15	—

3 小学校

(1) 学校数

- ① 学校数は1,363校で前年度より4校減少し20年連続の減少となった。
- ② 地域別にみると、区部は883校、市部は453校で前年度よりともに減少し、郡部は11校、島部が16校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が1,304校で前年度より4校減少した。国立は6校、私立が53校で同数である。構成比では、公立が全体の95.7%を占めている。

(表10、統計表3-1、付表I1-2)

表10 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	1,411	1,382	1,375	1,373	1,370	1,367	1,363	△ 4	100.0
(地域別)									
区 部	914	896	890	889	886	885	883	△ 2	64.8
市 部	461	458	457	457	457	455	453	△ 2	33.2
郡 部	12	11	11	11	11	11	11	0	0.8
島 部	24	17	17	16	16	16	16	0	1.2
(設置者別)									
国 立	6	6	6	6	6	6	6	0	0.4
公 立	1,354	1,323	1,316	1,314	1,311	1,308	1,304	△ 4	95.7
私 立	51	53	53	53	53	53	53	0	3.9

(2) 学級数

- ① 学級数は19,969学級で前年度より237学級増加した。10年前の平成14年度と比較すると1,346学級増加した。
- ② 設置者別では、国立は前年度より1学級減少し、公立は19,062学級で236学級、私立は789学級で2学級それぞれ前年度より増加した。
- ③ 収容人員別では1学級31人～35人の学級が6,897学級で最も多く、次いで26人～30人学級の6,076学級、36人～40人の学級が2,963学級となった。

(表11、統計表3-2)

表11 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	収容人員別							
								12人以下	13～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46人以上
総 数	18,623	19,288	19,448	19,503	19,614	19,732	19,969	999	543	2,408	6,076	6,897	2,963	79	4
国 立	120	121	121	120	121	119	118	5	—	—	5	32	76	—	—
公 立	17,783	18,410	18,548	18,599	18,705	18,826	19,062	966	512	2,351	5,991	6,677	2,546	19	—
私 立	720	757	779	784	788	787	789	28	31	57	80	188	341	60	4

(3) 児童数

- ① 児童数は586,412人で前年度より5,780人減少した。平成13年度から平成22年度まで10年連続して増加していたが、今年度は前年度に引続き減少となった。
- ② 地域別にみると、区部が368,802人で3,133人、市部が213,251人で2,651人それぞれ前年度より減少し、郡部が3,011人で1人、島部は1,348人で3人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 設置者別では、国公私立全ての設置者にて前年度より減少した。構成比では、公立が全体の94.8%を占めている。

(表12、統計表3-3、付表I1-2)

表 12 男女、地域、設置者別児童数

(単位：人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	560,912	588,374	592,736	594,326	595,669	592,192	586,412	△ 5,780	100.0
(男 女 別)									
男	286,251	300,588	303,003	304,016	304,874	302,864	299,714	△ 3,150	51.1
女	274,661	287,786	289,733	290,310	290,795	289,328	286,698	△ 2,630	48.9
(地 域 別)									
区 部	351,744	368,153	371,523	372,285	373,678	371,935	368,802	△ 3,133	62.9
市 部	204,365	215,750	216,809	217,620	217,599	215,902	213,251	△ 2,651	36.4
郡 部	3,296	3,147	3,107	3,095	3,047	3,010	3,011	1	0.5
島 部	1,507	1,324	1,297	1,326	1,345	1,345	1,348	3	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	4,539	4,497	4,463	4,434	4,381	4,292	4,171	△ 121	0.7
公 立	530,109	556,969	561,302	562,886	564,426	561,329	555,980	△ 5,349	94.8
私 立	26,264	26,908	26,971	27,006	26,862	26,571	26,261	△ 310	4.5

(4) 1学級当たりの児童数及び教員(本務者)1人当たりの児童数

1学級当たりの児童数は29.4人で前年度より0.6人減少し、10年前の平成14年度と比較すると0.7人減少となった。また、教員(本務者)1人当たりの児童数は18.2人で前年度より0.4人減少し、10年前の平成14年度と比較すると1.2人減少した。(表13、統計表3-2、3-3、3-6)

表13 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの児童数

(単位：学級、人)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
学 級 数	18,623	19,288	19,448	19,503	19,614	19,732	19,969	237
児 童 数	560,912	588,374	592,736	594,326	595,669	592,192	586,412	△ 5,780
教員数(本務者)	28,964	30,650	30,860	31,077	31,447	31,877	32,246	369
1学級当たり 児童数	30.1	30.5	30.5	30.5	30.4	30.0	29.4	△ 0.6
教員1人当たり 児童数	19.4	19.2	19.2	19.1	18.9	18.6	18.2	△ 0.4

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数、児童数

特別支援学級のある学校数は327校で、前年度より9校増加した。また、学級数は841学級で、前年度より9学級増加した。児童数は5,410人となり、前年度より27人増加し、10年前の平成14年度と比較すると2,141人増加した。(表14、統計表3-8)

表14 特別支援学級のある学校数、学級数及び児童数

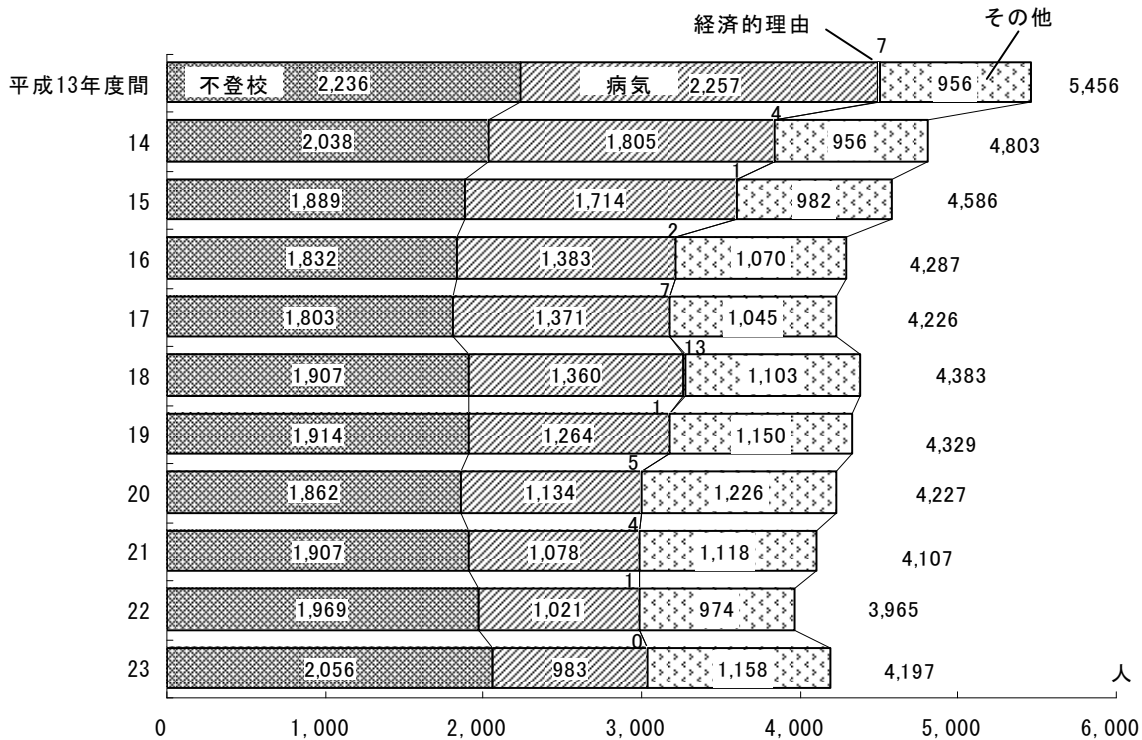
(単位：校、学級、人)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
学校数	272	296	299	304	313	318	327	9
学級数	545	696	730	766	797	832	841	9
児童数	3,269	4,375	4,646	4,940	5,179	5,383	5,410	27
知的障害	2,755	3,902	4,182	4,472	4,708	4,913	4,940	27
肢体不自由	55	59	63	59	63	52	48	△ 4
病弱・身体虚弱	195	108	99	76	67	74	49	△ 25
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	264	306	302	333	341	344	373	29

(6) 長期欠席者数

- ① 平成 23 年度間に 30 日以上欠席した児童は 4,197 人で平成 22 年度間より 232 人増加した。10 年前の平成 13 年度間の 5,456 人より 1,259 人減少した。
- ② 理由別内訳では、不登校は 2,056 人で 87 人、その他が 1,158 人で 184 人それぞれ平成 22 年度間より増加し、病気は 983 人で 38 人、経済的理由が 0 人で 1 人それぞれ平成 22 年度間より減少した。
- ③ 平成 23 年度の児童総数 592,192 人からみると、長期欠席者の割合は 141 人に 1 人となり、理由別内訳では不登校が 288 人に 1 人となった。(図 7、統計表 3-5)

図 7 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は、32,246 人で前年度より 369 人増加した。10 年前の平成 14 年度と比較すると 3,282 人増加した。
- ② 男女別では、男が 11,861 人で前年度より 193 人、女が 20,385 人で 176 人増加した。
- ③ 設置者別では、国立が 168 人で前年度より 8 人減少し、公立が 30,662 人で 360 人、私立が 1,416 人で 17 人それぞれ増加した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は 63.2%で、前年度より 0.2 ポイント低下した。

(表 15、統計表 3-6)

表 15 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減(対前年度)	
								増減	構成比
総数	28,964	30,650	30,860	31,077	31,447	31,877	32,246	369	100.0
(男女別)									
男	10,116	10,925	11,026	11,248	11,446	11,668	11,861	193	36.8
女	18,848	19,725	19,834	19,829	20,001	20,209	20,385	176	63.2
(設置者別)									
国立	166	165	175	172	173	176	168	△ 8	0.5
公立	27,554	29,170	29,337	29,546	29,896	30,302	30,662	360	95.1
私立	1,244	1,315	1,348	1,359	1,378	1,399	1,416	17	4.4
女性教員の割合	65.1	64.4	64.3	63.8	63.6	63.4	63.2	△ 0.2	—

4 中学校

(1) 学校数

- ① 学校数は819校で前年度と同数となった。10年前の平成14年度と比較すると20校減少した。
 - ② 地域別にみると、区部が535校で前年度より2校減少し、市部が262校で2校増加した。郡部は7校、島部は15校で前年度と同数である。
 - ③ 設置者別では、公立が625校で前年度より1校減少し、私立は188校で1校増加した。国立は6校で前年度と同数である。構成比では、公立が全体の76.3%を占めている。
 - ④ 中高一貫教育を行う学校は20校で前年度より1校増加した。 (表16、統計表4-1)
- ※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照。

表16 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	839	826	822	817	822	819	819	0	100.0
(地域別)									
区部	558	545	540	535	539	537	535	△2	65.3
市部	256	259	260	260	261	260	262	2	32.0
郡部	8	7	7	7	7	7	7	0	0.9
島部	17	15	15	15	15	15	15	0	1.8
(設置者別)									
国立	7	7	7	6	6	6	6	0	0.7
公立	653	636	631	627	629	626	625	△1	76.3
私立	179	183	184	184	187	187	188	1	23.0
	(1)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(3)		
中高一貫教育を行う学校(再掲)	...	12	14	15	18	19	20	1	2.4
併設型	...	2	4	5	8	9	10	1	1.2
連携型	...	10	10	10	10	10	10	0	1.2

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は9,521学級で前年度より55学級増加した。10年前の平成14年度と比較すると442学級増加した。
- ② 設置者別では、公立が7,186学級で前年度より70学級増加し、私立が2,263学級で15学級減少した。国立は72学級で前年度と同数である。
- ③ 収容人員別では1学級36人~40人の学級が3,410学級で最も多く、次いで31人~35人の学級が3,327学級、26人~30人の学級が1,020学級となった。 (表17、統計表4-3)

表17 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	12 人以下	13~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46 人以上
総数	9,079	9,069	9,165	9,300	9,297	9,466	9,521	632	164	262	1,020	3,327	3,410	622	84
国立	84	80	76	72	72	72	72	2	1	-	-	-	47	22	-
公立	6,953	6,800	6,834	6,932	6,949	7,116	7,186	529	51	140	756	2,918	2,788	4	-
私立	2,042	2,189	2,255	2,296	2,276	2,278	2,263	101	112	122	264	409	575	596	84

(3) 生徒数

- ① 生徒数は311,758人で前年度より224人減少した。
- ② 地域別にみると、市部が108,990人で382人前年度より増加したが、区部は200,664人で573人、郡部が1,492人で32人、島部が612人で1人それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、公立が231,211人で1,728人前年度より増加したが、私立は77,748人で1,952人減少し、国立は2,799人で同数である。
- ④ 設置者別の構成比では、公立が全体の74.2%を占めている。

(表18、統計表4-4)

表18 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	305,622	304,555	307,538	311,305	309,247	311,982	311,758	△ 224	100.0
(男 女 別)									
男	153,799	153,142	154,684	156,651	155,646	157,266	157,495	229	50.5
女	151,823	151,413	152,854	154,654	153,601	154,716	154,263	△ 453	49.5
(地 域 別)									
区 部	198,750	197,645	198,947	201,532	199,721	201,237	200,664	△ 573	64.4
市 部	104,306	104,702	106,381	107,600	107,403	108,608	108,990	382	35.0
郡 部	1,768	1,501	1,527	1,547	1,522	1,524	1,492	△ 32	0.5
島 部	798	707	683	626	601	613	612	△ 1	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	3,250	3,116	2,979	2,819	2,816	2,799	2,799	0	0.9
公 立	227,713	221,426	222,919	225,885	225,365	229,483	231,211	1,728	74.2
私 立	74,659	80,013	81,640	82,601	81,066	79,700	77,748	△ 1,952	24.9

(4) 1学級当たりの生徒数及び教員(本務者)1人当たりの生徒数

1学級当たりの生徒数は32.7人で前年度より0.3人減少した。10年前の平成14年度と比較すると1.0人減少した。また、教員(本務者)1人当たりの生徒数は16.2人で、前年度より0.2人減少した。10年前の平成14年度と比較すると0.5人減少した。

(表19、統計表4-3、4-4、4-7)

表19 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの生徒数

(単位：学級、人)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
学 級 数	9,079	9,069	9,165	9,300	9,297	9,466	9,521	55
生 徒 数	305,622	304,555	307,538	311,305	309,247	311,982	311,758	△ 224
教員数(本務者)	18,265	18,416	18,530	18,690	18,749	19,055	19,209	154
1学級当たり 生徒数	33.7	33.6	33.6	33.5	33.3	33.0	32.7	△ 0.3
教員1人当たり 生徒数	16.7	16.5	16.6	16.7	16.5	16.4	16.2	△ 0.2

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数及び生徒数

- ① 特別支援学級のある学校数は188校で、前年度より7校増加した。
- ② 学級数は490学級で、前年度より13学級増加した。
- ③ 生徒数は3,279人で前年度より81人増加した。10年前の平成14年度と比較すると1,521人増加した。

(表20、統計表4-9)

表20 特別支援学級のある学校数、学級数及び生徒数

(単位：校、学級、人)

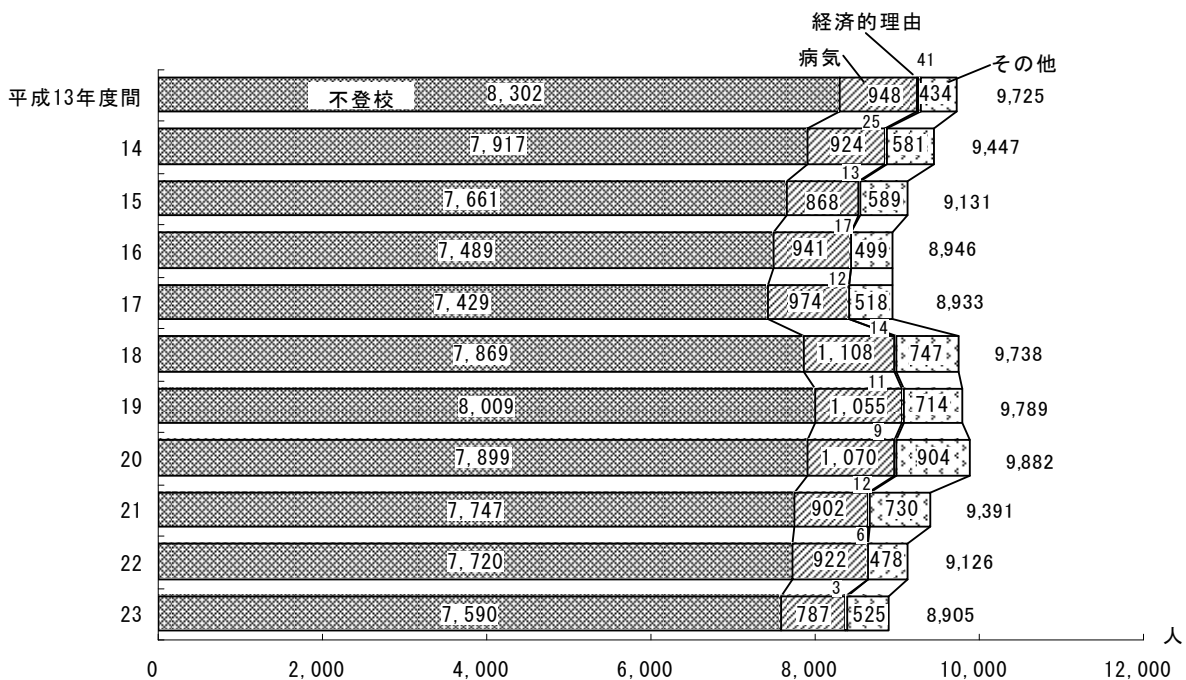
区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)
学校数	144	155	165	170	170	181	188	7
学級数	286	373	406	432	451	477	490	13
生徒数	1,758	2,448	2,645	2,883	3,011	3,198	3,279	81
知的障害	1,613	2,264	2,461	2,668	2,780	2,939	3,012	73
肢体不自由	20	21	18	18	18	27	27	0
病弱・身体虚弱	—	2	1	2	—	—	1	1
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	125	161	165	195	213	232	239	7

(6) 長期欠席者数

- ① 平成23年度間に30日以上欠席した生徒は、8,905人で前年度間より221人減少した。
- ② 理由別内訳では、不登校が7,590人で130人、病気は787人で135人それぞれ前年度間より減少した。
- ③ 平成23年度の生徒総数311,982人からみると、長期欠席者の割合が35人に1人となり、理由別内訳では不登校が41人に1人、病気が396人に1人となった。

(図8、統計表4-6)

図8 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は19,209人で前年度より154人増加した。10年前の平成14年度と比較すると944人増加した。
- ② 男女別では、男は11,058人で4人減少し、女は8,151人で158人増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は42.4%で0.5ポイント上昇した。
- ④ 設置者別では、国立が140人で2人、公立が14,891人で222人それぞれ前年度より増加し、私立が4,178人で70人減少した。

(表21、統計表4-7)

表21 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	18,265	18,416	18,530	18,690	18,749	19,055	19,209	154	100.0
(男女別)									
男	10,646	10,748	10,844	10,923	10,896	11,062	11,058	△4	57.6
女	7,619	7,668	7,686	7,767	7,853	7,993	8,151	158	42.4
(設置者別)									
国立	167	143	142	144	142	138	140	2	0.7
公立	14,407	14,274	14,305	14,360	14,404	14,669	14,891	222	77.5
私立	3,691	3,999	4,083	4,186	4,203	4,248	4,178	△70	21.8
女性教員の割合	41.7	41.6	41.5	41.6	41.9	41.9	42.4	0.5	—

5 高等学校

〔全日制課程・定時制課程〕

(1) 学校数

- ① 学校数は432校で前年度より2校減少した。10年前の平成14年度と比較すると24校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が308校で前年度より2校減少し、市部は116校、郡部は1校、島部は7校でそれぞれ前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国立が6校、私立が237校で前年度と同数で、公立が189校で2校減少した。構成比では、私立が全体の54.9%を占めている。
- ④ 課程別では、全日制課程のみの設置校が356校で前年度より2校減少し、定時制課程のみの設置校が15校、全日制・定時制併置校が61校でそれぞれ前年度と同数である。
- ⑤ 中高一貫教育を行う学校は16校で、前年度より1校増加した。

(表22、統計表5-1)

※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照のこと。

表22 地域、設置者、課程別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	456	450	447	438	435	434	432	△ 2	100.0
(地 域 別)									
区 部	330	323	320	313	311	310	308	△ 2	71.3
市 部	118	118	119	117	116	116	116	0	26.9
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.2
島 部	7	8	7	7	7	7	7	0	1.6
(設 置 者 別)									
国 立	6	6	6	6	6	6	6	0	1.4
公 立	212	206	203	195	192	191	189	△ 2	43.8
私 立	238	238	238	237	237	237	237	0	54.9
(課 程 別)									
全 日 制	(2)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)		
定 時 制	331	334	344	345	359	358	356	△ 2	82.4
併 置	12	25	25	21	15	15	15	0	3.5
併 置	113	91	78	72	61	61	61	0	14.1
中高一貫教育を行う学校(再掲)	...	8	10	11	14	15	16	1	3.7
併 設 型	...	2	4	5	8	9	10	1	2.3
連 携 型	...	6	6	6	6	6	6	0	1.4

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数(本科)

- ① 生徒数は315,262人で前年度より1,483人増加した。
- ② 地域別にみると、区部が224,265人で1,162人、市部が89,662人で353人、郡部が611人で2人それぞれ前年度より増加したが、島部は724人で34人前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、公立が136,097人で1,233人、私立が175,838人で301人それぞれ前年度より増加したが、国立は3,327人で51人前年度より減少した。
- ④ 課程別では、全日制が299,289人で前年度より1,649人増加したが、定時制は15,973人で166人前年度より減少した。

(表23、統計表5-5)

表23 男女、地域、設置者、課程別生徒数（本科）

（単位：人、％）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	338,051	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	1,483	100.0
(男 女 別)									
男	166,691	151,915	151,763	152,467	154,385	154,369	154,865	496	49.1
女	171,360	154,895	154,745	155,786	158,798	159,410	160,397	987	50.9
(地 域 別)									
区 部	238,661	217,865	217,201	218,436	222,275	223,103	224,265	1,162	71.1
市 部	97,871	87,571	87,918	88,446	89,518	89,309	89,662	353	28.4
郡 部	624	595	585	571	597	609	611	2	0.2
島 部	895	779	804	800	793	758	724	△ 34	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	3,453	3,481	3,490	3,493	3,445	3,378	3,327	△ 51	1.1
公 立	146,264	130,345	129,663	130,827	133,542	134,864	136,097	1,233	43.2
私 立	188,334	172,984	173,355	173,933	176,196	175,537	175,838	301	55.8
(課 程 別)									
全 日 制	323,540	291,997	291,722	293,039	297,315	297,640	299,289	1,649	94.9
定 時 制	14,511	14,813	14,786	15,214	15,868	16,139	15,973	△ 166	5.1

(3) 学科別生徒数（本科）

学科別生徒数は、普通科が269,499人で最も多く、次いで工業科15,370人、総合学科10,225人である。

（表24、統計表5-6）

表24 学科別生徒数（本科）

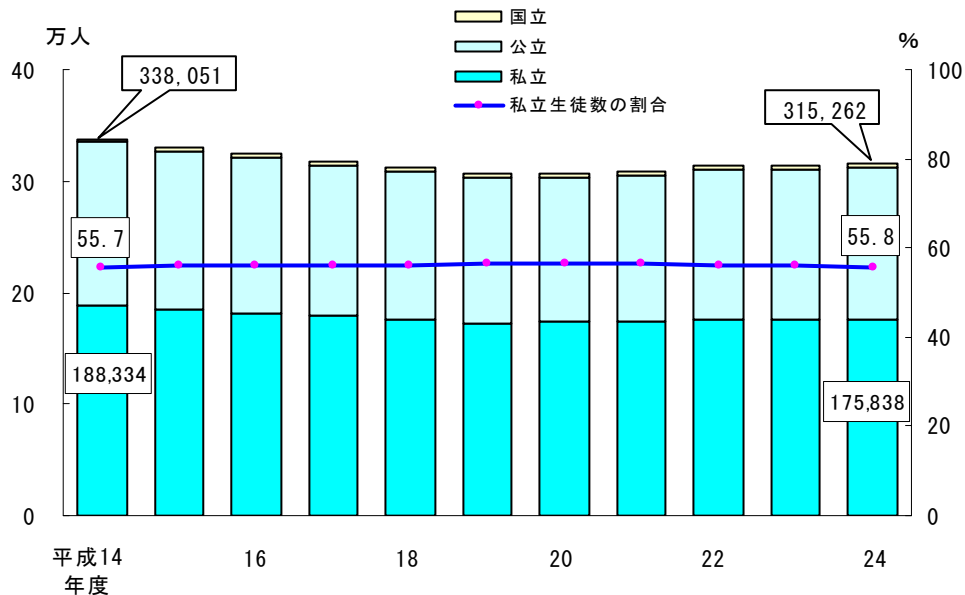
（単位：人、％）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	338,051	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	1,483	100.0
普 通 科	290,282	265,063	264,287	265,287	269,386	268,683	269,499	816	85.5
農 業	3,007	2,247	2,260	2,277	2,308	2,358	2,346	△ 12	0.7
工 業	20,987	16,060	15,154	14,576	14,635	15,124	15,370	246	4.9
商 業	14,868	9,816	9,289	9,190	9,383	9,601	9,600	△ 1	3.0
水 産	118	33	—	—	—	—	—	—	—
家 庭	1,921	1,476	1,460	1,420	1,331	1,266	1,248	△ 18	0.4
看 護	154	156	145	157	159	178	192	14	0.1
情 報	—	241	222	226	236	244	246	2	0.1
福 祉	—	69	98	93	98	97	101	4	0.0
そ の 他	4,935	5,307	5,909	6,395	6,412	6,485	6,435	△ 50	2.0
総 合 学 科	1,779	6,342	7,684	8,632	9,235	9,743	10,225	482	3.2

(4) 生徒総数に占める私立生徒数の割合（本科）

生徒総数に占める私立学校生徒数の割合は55.8%となり、10年前の平成14年度と比較すると0.1ポイント上昇した。（図9、統計表5-5）

図9 設置者別高等学校生徒数及び私立生徒数の割合の推移（本科）



(5) 教員1人当たりの生徒数（本科）

教員（本務者）1人当たりの生徒数は16.6人で前年度より0.1人減少し、10年前の平成14年度と比較すると0.6人減少した。（表25、統計表5-5、5-10）

表25 教員（本務者）1人当たりの生徒数

（単位：人）

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)
本科生徒数	338,051	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	1,483
教員数（本務者）	19,708	18,622	18,513	18,569	18,672	18,750	18,951	201
教員1人当たり 本科生徒数	17.2	16.5	16.6	16.6	16.8	16.7	16.6	△ 0.1

(6) 設置者別入学者数

① 入学者は、106,411人で前年度より1,630人増加した。

② 入学者のうち他県所在の中学校卒業者等の占める割合は10.3%で前年度より0.1ポイント低下した。設置者別では、国立が24.9%、公立が0.9%、私立が17.3%である。（表26、統計表5-8）

表26 設置者別入学者数

（単位：人、%）

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	国立 (%)	公立 (%)	私立 (%)
総数 (A)	112,344	105,375	104,985	105,352	108,792	104,781	106,411	1,113	46,155	59,143
うち他県所在の中学校 卒業者及び中等教育学校 前期課程修了者 (B)	14,447	12,784	12,722	12,703	12,145	10,935	10,933	277	418	10,238
割合 (B)/(A)	12.9	12.1	12.1	12.1	11.2	10.4	10.3	24.9	0.9	17.3

(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は18,951人で前年度より201人増加した。10年前の平成14年度と比較すると757人減少した。
- ② 男女別にみると、男が12,832人で20人、女が6,119人で181人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は32.3%で、前年度より0.6ポイント上昇した。
- ④ 設置者別では、国立は210人で5人、公立は9,418人で105人、私立は9,323人で91人それぞれ前年度より増加した。(表27、統計表5-10)

表27 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	19,708	18,622	18,513	18,569	18,672	18,750	18,951	201	100.0
(男 女 別)									
男	14,073	13,065	12,913	12,887	12,838	12,812	12,832	20	67.7
女	5,635	5,557	5,600	5,682	5,834	5,938	6,119	181	32.3
(設 置 者 別)									
国 立	237	207	206	206	208	205	210	5	1.1
公 立	10,374	9,500	9,336	9,268	9,284	9,313	9,418	105	49.7
私 立	9,097	8,915	8,971	9,095	9,180	9,232	9,323	91	49.2
女性教員の割合	28.6	29.8	30.2	30.6	31.2	31.7	32.3	0.6	—

[通信制課程]

(8) 学校数、生徒数、教員数(本務者)

- ① 学校数は13校(独立校4校、併置校9校)で前年度と同数である。
- ② 生徒数は14,045人で前年度より210人減少した。
- ③ 年齢別では「15歳～17歳」が9,621人で全体の68.5%で、「18歳～19歳」が2,032人、「20歳～29歳」が1,273人であった。
- ④ 教員数は302人で前年度より4人減少した。(表28、統計表5-12、5-13)

表28 通信制課程の学校数、生徒数及び教員数(本務者)

(単位：校、人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
学 校 数	10	12	12	13	13	13	13	0	100.0
独 立 校	3	3	3	4	4	4	4	0	30.8
併 置 校	7	9	9	9	9	9	9	0	69.2
生 徒 数	24,689	19,881	18,735	18,616	16,624	14,255	14,045	△ 210	100.0
15 ～ 17歳	17,259	11,369	10,606	10,234	10,049	9,651	9,621	△ 30	68.5
18 ～ 19	4,012	2,953	2,793	2,461	2,354	2,147	2,032	△ 115	14.5
20 ～ 29	2,376	2,385	2,139	1,952	1,603	1,360	1,273	△ 87	9.1
30 ～ 39	428	1,148	1,137	1,327	845	437	438	1	3.1
40 ～ 49	181	949	920	1,204	767	289	317	28	2.3
50 ～ 59	264	774	809	1,006	634	158	177	19	1.3
60 歳以上	169	303	331	432	372	213	187	△ 26	1.3
教員数(本務者)	317	323	315	317	311	306	302	△ 4	—

注) 独立校とは通信制課程のみの学校、併置校とは全日制や定時制と併置している学校である。

(3) 教員（本務者）1人当たりの生徒数

教員（本務者）1人当たりの生徒数は13.1人で、前年度より1.1人増加した。10年前の平成14年度と比較すると3.4人減少した。（表31、統計表6-3、6-5）

表31 教員（本務者）1人当たりの生徒数

（単位：人）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
生 徒 数	694	2,048	2,759	3,481	4,385	5,319	5,940	621
教員数（本務者）	42	180	218	248	401	444	453	9
教員1人当たり 生 徒 数	16.5	11.4	12.7	14.0	10.9	12.0	13.1	1.1

(4) 教員数（本務者）

- ① 教員数は453人で前年度より9人増加した。10年前の平成14年度と比較すると411人増加した。
- ② 男女別では、男が298人で前年度より1人減少し、女は155人で前年度より10人増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は34.2%で、前年度より1.5ポイント増加した。
- ④ 設置者別では、国立が95人で前年度より1人減少し、公立は358人で前年度より10人増加した。

（表32、統計表6-5）

表32 男女、設置者別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	42	180	218	248	401	444	453	9	100.0
（男女別）									
男	29	115	139	147	268	299	298	△1	65.8
女	13	65	79	101	133	145	155	10	34.2
（設置者別）									
国 立	42	96	95	95	96	96	95	△1	21.0
公 立	—	84	123	153	305	348	358	10	79.0
私 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性教員の割合	31.0	36.1	36.2	40.7	33.2	32.7	34.2	1.5	—

7 特別支援学校

(1) 学校数

- ① 学校数は68校で、前年度より1校減少した。10年前の平成14年度と比較すると1校減少した。
 ② 設置者別では、国立が4校、公立が60校、私立が4校である。(表33、統計表7-1)

表33 設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	69	66	67	68	68	69	68	△1	100.0
国立	4	4	4	4	4	4	4	0	5.9
公立	62	59	59	60	60	61	60	△1	88.2
私立	3	3	4	4	4	4	4	0	5.9

注) 平成14年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(2) 学級数

- 学級数は2,518学級で前年度より59学級増加した。10年前の平成14年度と比較すると523学級増加した。
 (表34、統計表7-2)

表34 部別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,995	2,198	2,269	2,353	2,406	2,459	2,518	59	100.0
幼稚部	50	46	48	49	46	48	47	△1	1.9
小学部	798	907	923	937	954	963	970	7	38.5
中学部	497	521	543	571	574	588	596	8	23.7
高等部	650	724	755	796	832	860	905	45	35.9

注) 平成14年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(3) 在学者数

- ① 在学者数は12,025人で前年度より433人増加した。10年前の平成14年度と比較すると3,710人増加した。
 ② 部別では、幼稚部が176人で前年度より2人減少したが、小学部は3,782人で76人、中学部は2,471人で63人、高等部は5,596人で296人前年度よりそれぞれ増加した。
 ③ 設置者別では、国立が462人で3人、私立が232人で2人それぞれ前年度より減少し、公立は11,331人で前年度より438人増加した。(表35、統計表7-3)

表35 男女、部、設置者別在学者数

(単位：人、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	8,315	9,722	10,252	10,804	11,145	11,592	12,025	433	100.0
(男女別)									
男	5,307	6,347	6,636	7,000	7,214	7,503	7,798	295	64.8
女	3,008	3,375	3,616	3,804	3,931	4,089	4,227	138	35.2
(部別)									
幼稚部	194	183	206	197	176	178	176	△2	1.5
小学部	2,811	3,379	3,502	3,595	3,627	3,706	3,782	76	31.5
中学部	1,838	2,048	2,169	2,290	2,323	2,408	2,471	63	20.5
高等部	3,472	4,112	4,375	4,722	5,019	5,300	5,596	296	46.5
(設置者別)									
国立	462	450	456	475	463	465	462	△3	3.8
公立	7,677	9,078	9,580	10,110	10,456	10,893	11,331	438	94.2
私立	176	194	216	219	226	234	232	△2	1.9

注) 平成14年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(4) 1学級当たりの在学者数及び教員（本務者）1人当たりの在学者数

- ① 1学級当たりの在学者数は4.8人で前年度より0.1人増加した。
 ② 教員1人当たりの在学者数は2.1人で前年度より0.1人増加した。10年前の平成14年度と比較すると0.3人増加した。（表36、統計表7-2、7-3、7-6）

表36 1学級当たり、教員（本務者）1人当たりの在学者数

（単位：学級、人）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
学 級 数	1,995	2,198	2,269	2,353	2,406	2,459	2,518	59
在 学 者 数	8,315	9,722	10,252	10,804	11,145	11,592	12,025	433
教員数（本務者）	4,673	5,132	5,288	5,486	5,613	5,723	5,804	81
1学級当たり 在学者数	4.2	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	0.1
教員1人当たり 在学者数	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	0.1

注) 平成14年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(5) 障害種別学校数、学級数及び在学者数

障害種別では、学校数、学級数及び在学者数とも知的障害が最も多い。（表37、統計表7-4、7-5）

表37 障害種別学校数、学級数及び在学者数

（単位：校、学級、人）

区 分	学 校 数	学 級 数	在 学 者 数	在 学 者 数			
				幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部
総 数	68	2,518	12,025	176	3,782	2,471	5,596
視 覚 障 害	4	89	395	36	60	64	235
聴 覚 障 害	6	144	712	115	251	167	179
知 的 障 害	34	1,196	7,457	17	1,818	1,350	4,272
肢 体 不 自 由	12	308	1,310	—	597	356	357
病 弱 ・ 身 体 虚 弱	4	52	172	—	110	49	13
そ の 他	8	729	1,979	8	946	485	540

注1) 学校数は、学校教育法第73条により当該学校が教育の対象としている障害に計上した。

2) 「その他」とは、複数の障害種別の組み合わせである。

(6) 教員数（本務者）

- ① 教員数は5,804人で前年度より81人増加した。10年前の平成14年度と比較すると1,131人増加した。
 ② 男女別では、男が2,361人で40人、女が3,443人で41人それぞれ前年度より増加した。
 ③ 教員数に占める女性教員の割合は59.3%で前年度より0.1ポイント減少した。（表38、統計表7-6）

表38 男女、設置者別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	
								増 減	構 成 比
総 数	4,673	5,132	5,288	5,486	5,613	5,723	5,804	81	100.0
男	2,039	2,144	2,186	2,250	2,301	2,321	2,361	40	40.7
女	2,634	2,988	3,102	3,236	3,312	3,402	3,443	41	59.3
(設置者別)									
国 立	222	222	225	230	225	225	225	0	3.9
公 立	4,385	4,835	4,982	5,171	5,295	5,396	5,476	80	94.3
私 立	66	75	81	85	93	102	103	1	1.8
女性教員の割合	56.4	58.2	58.7	59.0	59.0	59.4	59.3	△ 0.1	—

注) 平成14年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

8 専修学校

(1) 学校数

- ① 学校数は419校で前年度より12校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が357校で10校、市部が62校で2校それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、国立が2校、公立が9校でともに前年度と同数であり、私立は408校で12校減少した。

表39 地域、設置者別学校数

(表39、統計表8-1)

(単位：校、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	465	456	451	449	446	431	419	△12	100.0
(地域別)									
区部	396	386	382	382	379	367	357	△10	85.2
市部	69	70	69	67	67	64	62	△2	14.8
郡部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	8	3	3	3	2	2	2	0	0.5
公立	13	9	9	9	9	9	9	0	2.1
私立	444	444	439	437	435	420	408	△12	97.4
	(25)	(19)	(21)	(20)	(32)	(26)	(19)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は141,989人で前年度より558人減少した。10年前の平成14年度と比較すると54,137人減少した。
- ② 男女別にみると、男が67,405人で前年度より597人減少し、女は74,584人で39人増加した。
- ③ 地域別では、区部が121,377人で前年度より829人減少し、市部が20,612人で271人増加した。
- ④ 設置者別では、私立が140,063人で前年度より559人減少した。

(表40、統計表8-6)

表40 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
総数	196,126	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	△558	100.0
(男女別)									
男	96,671	78,127	72,218	67,300	67,529	68,002	67,405	△597	47.5
女	99,455	84,805	78,897	73,575	74,238	74,545	74,584	39	52.5
(地域別)									
区部	169,253	139,431	130,059	121,558	122,108	122,206	121,377	△829	85.5
市部	26,873	23,501	21,056	19,317	19,659	20,341	20,612	271	14.5
郡部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	1,038	239	239	231	100	77	55	△22	0.0
公立	3,309	1,936	1,865	1,893	1,885	1,848	1,871	23	1.3
私立	191,779	160,757	149,011	138,751	139,782	140,622	140,063	△559	98.6

(3) 課程別生徒数

課程別の生徒数は、高等課程が3,167人で10人、専門課程が129,101人で483人、一般課程が9,721人で65人それぞれ前年度より減少した。構成比は専門課程が90.9%で前年度と同率となった。

(表41、統計表8-6)

表41 課程別生徒数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)
(実 数)								
総 数	196,126	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	△ 558
高等課程	6,304	4,000	3,664	3,360	3,294	3,177	3,167	△ 10
専門課程	175,173	149,970	137,190	127,831	128,444	129,584	129,101	△ 483
一般課程	14,649	8,962	10,261	9,684	10,029	9,786	9,721	△ 65
(構 成 比)								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
高等課程	3.2	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	0.0
専門課程	89.3	92.0	90.8	90.7	90.6	90.9	90.9	0.0
一般課程	7.5	5.5	6.8	6.9	7.1	6.9	6.8	△ 0.1

(4) 分野別生徒数

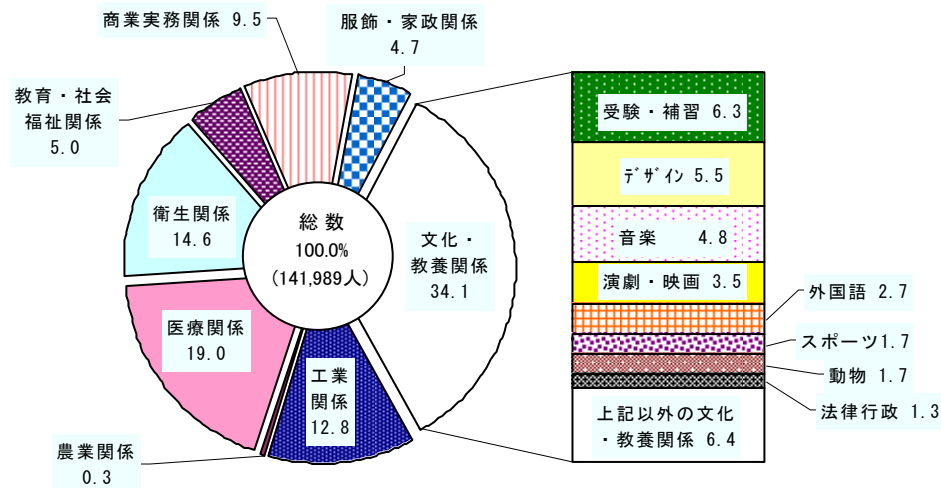
分野別生徒数では、多い順に「文化・教養関係」が48,444人で全体の34.1%を占め、次いで「医療関係」が27,048人、「衛生関係」が20,689人となった。生徒数を前年度と比較すると、「工業関係」、「農業関係」、「医療関係」、「衛生関係」が増加し、「教育・社会福祉関係」「商業実務関係」、「服飾・家政関係」、「文化・教養関係」は減少した。(表42、図10、統計表8-7)

表42 分野別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	196,126	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	△ 558	100.0
工業関係	33,951	19,729	18,053	17,260	17,598	17,961	18,120	159	12.8
農業関係	1,386	324	240	241	292	350	370	20	0.3
医療関係	30,744	29,746	27,529	26,502	26,012	26,621	27,048	427	19.0
衛生関係	24,579	23,206	20,706	18,907	19,611	20,525	20,689	164	14.6
教育・社会福祉関係	11,862	9,933	7,646	6,318	6,574	7,209	7,156	△ 53	5.0
商業実務関係	17,517	15,531	15,848	14,641	14,515	13,982	13,492	△ 490	9.5
服飾・家政関係	13,350	9,921	9,157	7,881	7,475	6,727	6,670	△ 57	4.7
文化・教養関係	62,737	54,542	51,936	49,125	49,690	49,172	48,444	△ 728	34.1

図10 分野別生徒数の構成比



(5) 学科別生徒数(上位5学科・男女別)

生徒数の多い学科(上位5学科)を男女別にみると、男は「受験・補習」の6,564人が最も多く、次いで「音楽」、「情報処理」、「調理」、「柔道整復」の順となった。女は「美容」の7,267人が最も多く、次いで「看護」、「デザイン」、「和洋裁」、「音楽」の順となった。(表43、統計表8-7)

表43 男女別生徒数の多い学科(上位5学科)

(男)							
1位	受験・補習 8,681人	受験・補習 5,902人	受験・補習 7,029人	受験・補習 6,655人	受験・補習 6,914人	受験・補習 6,712人	受験・補習 6,564人
2位	情報処理 8,172人	デザイン 4,741人	デザイン 4,092人	情報処理 3,693人	音楽 3,392人	音楽 3,453人	音楽 3,450人
3位	音楽 5,981人	情報処理 4,692人	情報処理 4,029人	デザイン 3,637人	情報処理 3,320人	デザイン 3,146人	情報処理 3,045人
4位	デザイン 5,290人	音楽 4,012人	音楽 3,618人	音楽 3,414人	デザイン 3,260人	情報処理 3,110人	調理 2,972人
5位	自動車整備 4,461人	柔道整復 3,786人	自動車整備 3,418人	自動車整備 3,273人	自動車整備 3,000人	自動車整備 2,946人	柔道整復 2,938人
	平成14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
(女)							
1位	美容 9,309人	美容 8,833人	美容 7,913人	美容 7,272人	美容 7,590人	美容 7,717人	美容 7,267人
2位	看護 8,531人	デザイン 6,734人	デザイン 6,199人	看護 6,172人	看護 6,157人	看護 6,462人	看護 6,698人
3位	和洋裁 7,445人	和洋裁 6,378人	看護 6,083人	デザイン 5,830人	デザイン 5,545人	デザイン 5,255人	デザイン 5,017人
4位	デザイン 7,068人	看護 6,176人	和洋裁 5,946人	和洋裁 5,188人	和洋裁 4,769人	和洋裁 4,341人	和洋裁 4,375人
5位	音楽 3,864人	音楽 3,978人	旅行 3,764人	旅行 3,445人	旅行 3,357人	音楽 3,404人	音楽 3,395人
	平成14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度

注) 学科分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照。

(6) 教員数

- ① 教員数は23,709人で前年度より202人減少した。10年前の平成14年度と比較すると2,895人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が7,455人で前年度より278人減少し、兼務者は16,254人で76人増加した。教員数に占める兼務者の割合は68.6%となった。(表44、統計表8-8)

表44 教員数

(単位:人、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
教員数	26,604	25,723	25,516	25,247	24,206	23,911	23,709	△ 202	100.0
本務者	8,226	8,067	7,831	7,975	7,616	7,733	7,455	△ 278	31.4
兼務者	18,378	17,656	17,685	17,272	16,590	16,178	16,254	76	68.6

9 各種学校

(1) 学校数

- ① 学校数は163校で前年度より5校減少した。10年前の平成14年度と比較すると29校減少した。
- ② 地域別では、区部が143校で前年度より5校減少し、市部は19校、郡部は1校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では私立学校のみである。 (表45、統計表9-1)

表45 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	192	179	178	173	171	168	163	△ 5	100.0
(地 域 別)									
区 部	166	157	156	152	150	148	143	△ 5	87.7
市 部	25	21	21	20	20	19	19	0	11.7
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.6
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	192	179	178	173	171	168	163	△ 5	100.0
	(54)	(51)	(54)	(54)	(57)	(58)	(55)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は22,563人で前年度より466人減少した。10年前の平成14年度と比較すると11,511人減少した。
- ② 男女別にみると、男が10,510人で55人、女が12,053人で411人それぞれ前年度より減少した。
- ③ 地域別では、区部が19,263人で397人、市部が3,300人で69人それぞれ前年度より減少した。

(表46、統計表9-1)

表46 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	34,074	31,054	29,684	29,385	28,285	23,029	22,563	△ 466	100.0
(男 女 別)									
男	15,632	13,573	12,852	12,922	12,648	10,565	10,510	△ 55	46.6
女	18,442	17,481	16,832	16,463	15,637	12,464	12,053	△ 411	53.4
(地 域 別)									
区 部	29,881	27,335	25,950	25,725	24,723	19,660	19,263	△ 397	85.4
市 部	4,193	3,719	3,734	3,660	3,562	3,369	3,300	△ 69	14.6
郡 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	34,074	31,054	29,684	29,385	28,285	23,029	22,563	△ 466	100.0

(3) 課程別生徒数(上位5課程・男女別)

生徒数の多い課程(上位5課程)を男女別にみると、男は「外国人学校」の5,359人が最も多く、次いで「外国語」、「予備校」、「はり・きゅう・あんま」、「料理」の順となった。女は「外国人学校」の5,141人が最も多く、次いで「外国語」、「料理」、「美術」、「音楽」の順となった。(表47、統計表9-2)

表47 男女別生徒数の多い課程(上位5課程)

(男)

順位	平成14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1位	外国人学校 5,212人	外国人学校 5,733人	外国人学校 5,868人	外国人学校 6,005人	外国人学校 5,789人	外国人学校 6,008人	外国人学校 5,359人
2位	予備校 4,445人	予備校 2,218人	外国語 2,276人	外国語 2,216人	外国語 2,281人	外国語 1,125人	外国語 1,198人
3位	外国語 2,513人	外国語 1,738人	予備校 841人	予備校 768人	予備校 785人	予備校 734人	予備校 660人
4位	はり・きゅう・あんま 257人	はり・きゅう・あんま 245人	はり・きゅう・あんま 236人	はり・きゅう・あんま 216人	料理 224人	料理 236人	はり・きゅう・あんま 232人
5位	料理 180人	料理 204人	料理 193人	料理 215人	はり・きゅう・あんま 220人	はり・きゅう・あんま 214人	料理 213人

(女)

順位	平成14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1位	外国語 5,819人	外国人学校 5,546人	外国人学校 5,753人	外国人学校 5,778人	外国人学校 5,626人	外国人学校 5,706人	外国人学校 5,141人
2位	外国人学校 5,018人	外国語 5,200人	外国語 4,528人	外国語 4,457人	外国語 4,181人	外国語 2,251人	外国語 2,252人
3位	予備校 1,796人	料理 1,100人	料理 1,088人	料理 1,115人	料理 1,009人	料理 951人	料理 1,066人
4位	料理 1,386人	予備校 807人	予備校 522人	予備校 526人	予備校 559人	予備校 506人	美術 433人
5位	音楽 454人	音楽 448人	音楽 458人	音楽 459人	音楽 422人	美術 422人	音楽 350人

注) 課程の分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照。

(4) 教員数

- ① 教員数は、3,270人で前年度より107人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が1,608人で54人、兼務者は1,662人で53人それぞれ前年度より減少した。また、教員数に占める兼務者の割合は50.8%となった。(表48、統計表9-1)

表48 教員数

(単位:人、%)

区分	平成14年度	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度)	構成比
教員数	3,585	3,640	3,460	3,442	3,410	3,377	3,270	△ 107	100.0
本務者	1,555	1,636	1,603	1,658	1,643	1,662	1,608	△ 54	49.2
兼務者	2,030	2,004	1,857	1,784	1,767	1,715	1,662	△ 53	50.8

【卒業後の状況調査】

1 中学校

(1) 卒業生数

平成 24 年 3 月の中学校卒業生は 104,071 人で前年度より 1,961 人増加した。(表 49、統計表 10-1)

(2) 卒業生の状況

- ① 高等学校等への進学者は 102,147 人で、前年度より 1,998 人増加した。
- ② 高等学校等への進学率は、98.2%で前年度より 0.1 ポイント上昇した。
- ③ 専修学校（高等課程）への進学者は 490 人で、前年度より 90 人増加した。
- ④ 専修学校（一般課程）等への入学者は 179 人で、前年度より 5 人増加した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は 41 人で前年度より 3 人減少した。
- ⑥ 就職率は 0.4%で前年度と同率である。

(表 49、統計表 10-1)

表 49 状況別卒業生数（中学校）

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成23年 3月	平成24年 3月	増 減 (対前年度)
総 数	102,110	104,071	1,961
高等学校等進学者(A)	100,149	102,147	1,998
専修学校（高等課程） 進 学 者 (B)	400	490	90
専修学校（一般課程） 等 入 学 者 (C)	174	179	5
公共職業能力開発施設 等 入 学 者 (D)	44	41	△ 3
就 職 者	309	362	53
上 記 以 外 の 者	1,025	830	△ 195
不 詳 ・ 死 亡	9	22	13
上記(A)～(D)のうち就 職している者(再掲)	54	54	0
高等学校等進学率	98.1	98.2	0.1
就 職 率	0.4	0.4	0.0

注1) 「高等学校等進学者」には、中等教育学校後期課程本科、高等学校等進学者、高等学校等進学者部への進学者を含む。

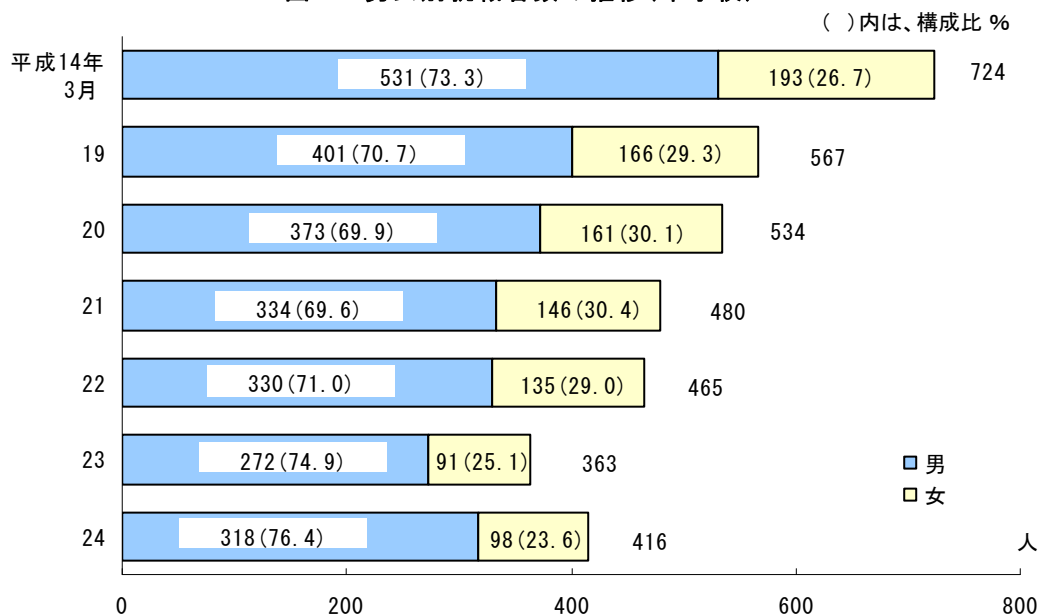
2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の高等学校に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

(3) 就職状況

就職者総数は 416 人（就職者 362 人、進学しながら就職している者 54 人）で前年度より 53 人増加した。男女別の就職者数をみると、例年男が女を上回っている。

(表 49、図 11、統計表 10-1)

図 11 男女別就職者数の推移（中学校）



2 高等学校（全日制・定時制）

（1）卒業生数

平成24年3月の高等学校卒業生は98,500人で、前年度より1,216人増加した。

（表50、統計表11-1）

（2）卒業生の状況

- ① 大学等への進学者は64,761人で、前年度より1,080人増加した。
- ② 大学等への進学率は65.7%で、前年度より0.2ポイント上昇し、9年連続して過去最高となった。
- ③ 専修学校（専門課程）への進学者は11,866人で、前年度より823人増加した。また、進学率は12.0%で、前年度より0.6ポイント上昇した。
- ④ 専修学校（一般課程）等への入学者は6,925人で、前年度より180人増加した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は321人で、前年度より24人増加した。

（表50、統計表11-2）

表50 状況別卒業生数（高等学校）

区 分	（単位：人、%、ポイント）		
	平成23年 3月	平成24年 3月	増 減 (対前年度)
総 数	97,284	98,500	1,216
大学等進学者(A)	63,681	64,761	1,080
うち大学学部	60,032	61,321	1,289
うち短期大学本科	3,556	3,365	△ 191
専修学校（専門課程） 進 学 者 (B)	11,043	11,866	823
専修学校（一般課程） 等 入 学 者 (C)	6,745	6,925	180
公共職業能力開発 施設等入学者(D)	297	321	24
就 職 者	5,452	5,536	84
一時的な仕事に 就 いた 者	1,297	1,224	△ 73
上 記 以 外 の 者	8,765	7,859	△ 906
不 詳 ・ 死 亡	4	8	4
上記(A)～(D)のうち就 職している者（再掲）	32	15	△ 17
大 学 等 進 学 率	65.5	65.7	0.2
専修学校（専門課程） 進 学 率	11.4	12.0	0.6
就 職 率	5.6	5.6	0.0
一時的な仕事に就いた 者 の 割 合	1.3	1.2	△ 0.1

注1) 「大学等進学者」には、大学・短大の別科、高等学校専攻科、特別支援学校高等部専攻科への進学者を含む。

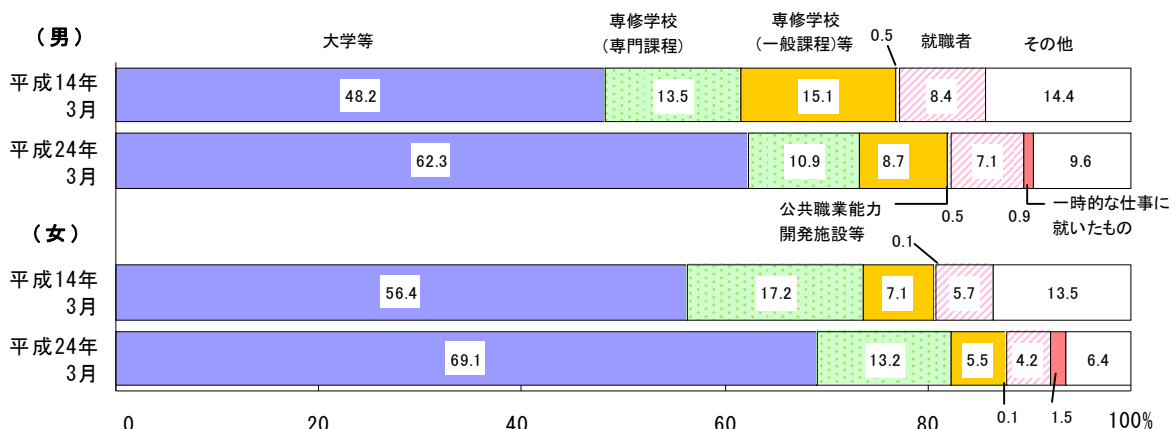
注2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の大学等に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

（3）状況別卒業生の割合（10年前との比較）

状況別卒業生の割合を10年前と比較した場合、大学等への進学者の割合が男女ともに上昇した。

（図12、統計表11-1）

図12 状況別卒業生の割合（10年前との比較）



注1) 「就職者」には、進学しながら就職している者を含まない。

注2) 「一時的な仕事に就いた者」は、平成16年度調査から追加された。

(4) 就職状況

- ① 就職者総数は5,551人（就職者5,536人、進学しながら就職している者15人）で前年度より67人増加した。男女別では、男が3,423人、女が2,128人となった。
- ② 就職率は5.6%で前年度と同率である。男女別では、男が7.1%、女が4.2%となった。
- ③ 職業別就職者数は、「生産工程従事者」が1,271人で就職者全体の22.9%と最も多く、次いで「サービス職業従事者」945人、「販売従事者」866人、「事務従事者」617人の順となった。
- ④ 産業別就職者数は、「製造業」が1,210人で就職者全体の21.8%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」916人、「建設業」703人となった。（表50、図13、14、統計表11-1、11-7、11-9）

図13 職業別就職者数(平成24年3月)

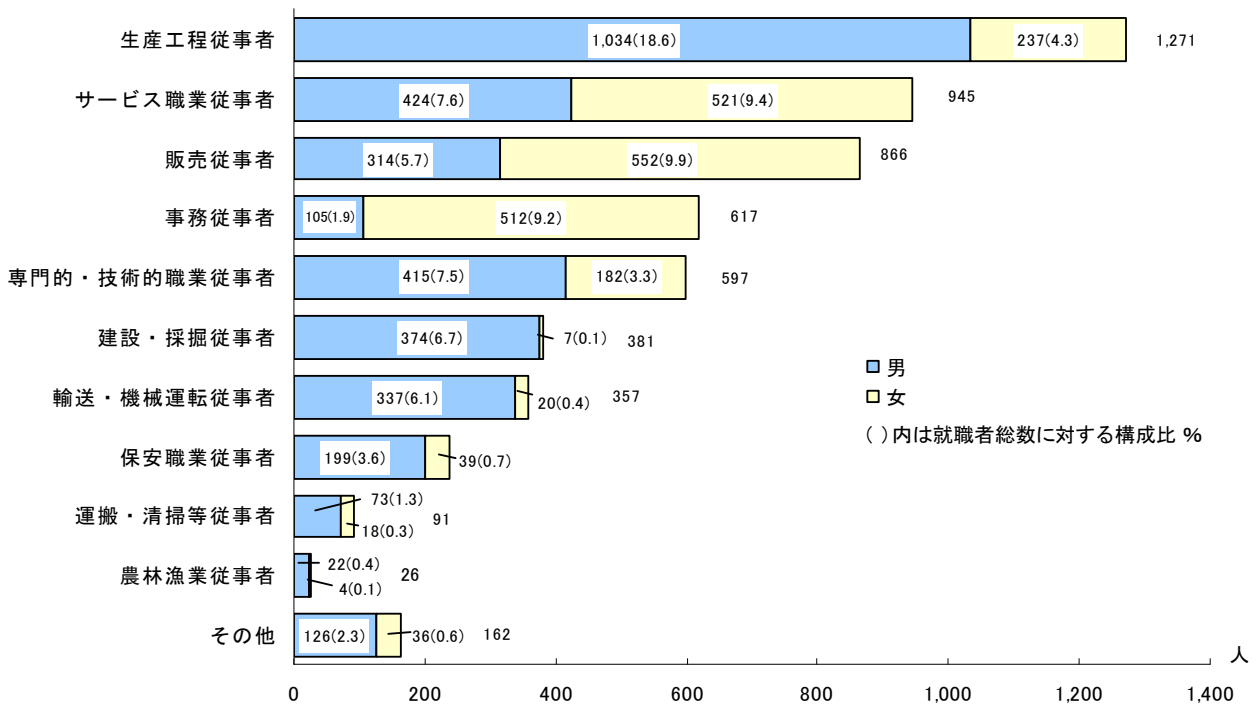


図14 産業別就職者数(平成24年3月)

